

■スペイン：バレアス諸島に欧州最大級の水素製造装置を建設

2019年5月9日付の現地報道によると、スペインバレアス諸島州の Francina Armengol 知事は、2021年までに欧州最大規模の1万kWの水素製造装置を建設すると発表した。製造には、島内の太陽光発電設備から発生した余剰電力が使われる。このプロジェクトは、バレアス諸島州のリュセタ地方（マヨルカ島）で計画されている8つの再工業化プロジェクトの一つで、州政府とスペインのセメント会社である民間企業4社（Cemex、Enagas、Acciona、Redexis）と共同で進められている。また、製造した水素の用途は主に燃料自動車などの輸送機器を想定しており、予算は合計で5,000万ユーロと発表されている。現在は公開協議の段階であり、今後具体的な行政手続きが始まる見込みである。